

地域の宝を守り、残し、伝える活動で芽生える自立心や思いやり

協会会長賞 福岡県 新宮町立新宮中学校相島分校

玄界灘に浮かぶハートの形をした相島は、古くは万葉集にも詠われた歴史のある島だ。人口は約 300 人で、漁業に従事する人がほとんどである。そんな町を見下ろす山の中腹に位置する同校では、昭和 23 年より、生徒が主体となって島の環境美化や自然保護、地域の保全に努める活動が続いている。その取り組みが、「相島 BFC（ボーイズ・ファイヤー・クラブ）アクションプラン」。

昭和 23 年、大火に見舞われ相島の文化財や家屋など島の宝が消失したのを機に、生徒会の発案で、漁に出て大人が不在の日中でも、生徒たちが自主的に初期消火のためのポンプ操法などができる活動を始めた。また、生徒が班ごとに島を回って火の用心を呼びかける夜回り活動が週 4 回行われているほか、島の全世帯を回りながら防火ステッカーを配布し、高齢者を見守る一斉夜回り活動も年 1 回実施。

こうした地域の宝を「守り、残し、伝える」取り組みは、豊かな自然環境を保護する環境美化活動にも向けられている。玄海国定公園の一部である島の自然を継承するために、地域住民や小学校とともにを行う海岸清掃では、海外からの漂着ゴミが多いことを実感、日本の問題だけではなく世界規模での課題を考える貴重な機会となっている。さらに、生徒は、島の魅力を発信するために、名所を観光客に案内する「生徒による島ガイド」も取り組むなど、島の宝を後世に伝え残す活動を主体的に行っている。

島の漁師の山田博文さんは、「自分たちの島は自分たちで守るという生徒の行動が、故郷を愛する心や人を思いやる心につながっている」との思いを深めている。

現在は全校生徒 7 名。一時は 3 名にまで減少した時期もあったが、先人の功績を誇りに 65 年間継続して取り組んできた生徒たちには、教育の原点である自立心が着実に育っている。

福岡県新宮町立新宮中学校相島分校

教頭：福島新一

生徒数：7 名（2013 年 11 月末現在）・全 3 学級

住所：福岡県粕屋郡新宮町相島 735

電話：092-963-0150

アクセス：「新宮漁港」から船で 20 分



写真上：地域住民といっしょに行う海岸清掃、
写真上から 2 番目：ポンプ操法に取り組む様子、
写真上から 3 番目：家を一軒一軒回る一斉夜回り活動、
写真下：生徒による島ガイド案内